

アトサヌプリ

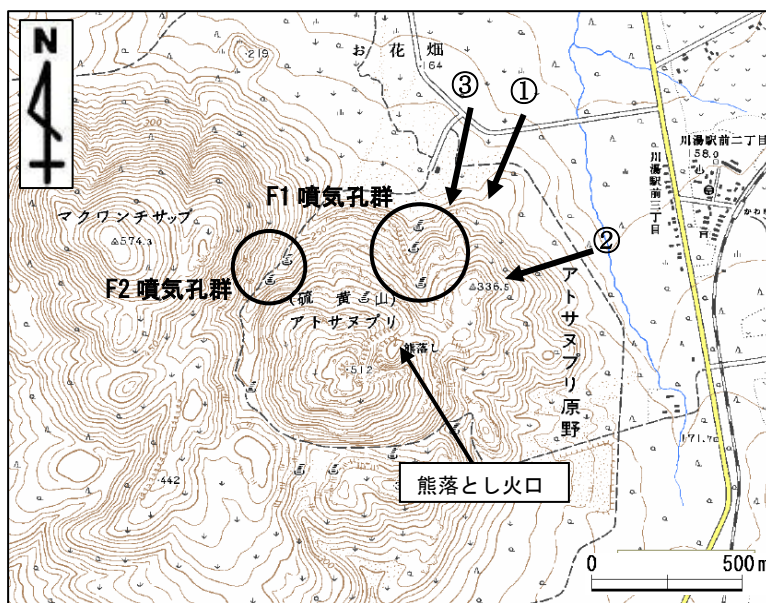
○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動は静穏な状況です。

○ 概況

・ 火口や噴気の状況（図 1～図 6）

3 日に北海道開発局の協力を得て実施した上空からの観測および 13 日に実施した現地調査によると、アトサヌプリ溶岩ドームに点在する噴気孔では噴気活動が続いていました。噴気温度¹⁾は 100～120℃前後で、これまで（前回 2006 年 7 月：100～120℃前後）と比べ活動状況に変化はありませんでした。また、赤外熱映像装置²⁾による観測では、噴気孔群や地熱域に対応した高温域が認められましたが、これまでの観測結果と比べ温度分布に大きな変化はありませんでした。



- 1) サーミスタ温度計による実測
- 2) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、熱源から離れるほど測定される温度は実際の温度よりも低い値になってしまいます。また、噴煙や霧で測定対象が見えにくい場合には温度測定ができないこともあります。

図 1 アトサヌプリ 火口周辺図



図 2 アトサヌプリ 全景
(2007 年 7 月 3 日 図 1 ①方向から撮影)

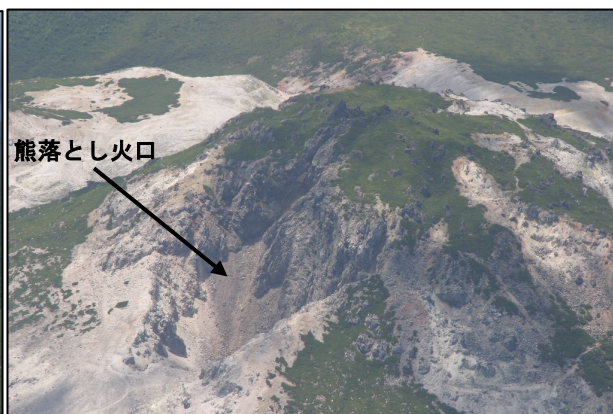


図 3 アトサヌプリ 熊落とし火口
(2007 年 7 月 3 日 図 1 ②方向から撮影)

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています。(承認番号 平 17 総使、第 503 号)

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 200000 (地図画像)』を複製しています(承認番号 平 17 総複、第 650 号)。



図 4 アトサヌプリ F1 噴気孔群の状況
(2007 年 7 月 13 日撮影)



図 5 アトサヌプリ F2 噴気孔群の状況
(2007 年 7 月 13 日撮影)

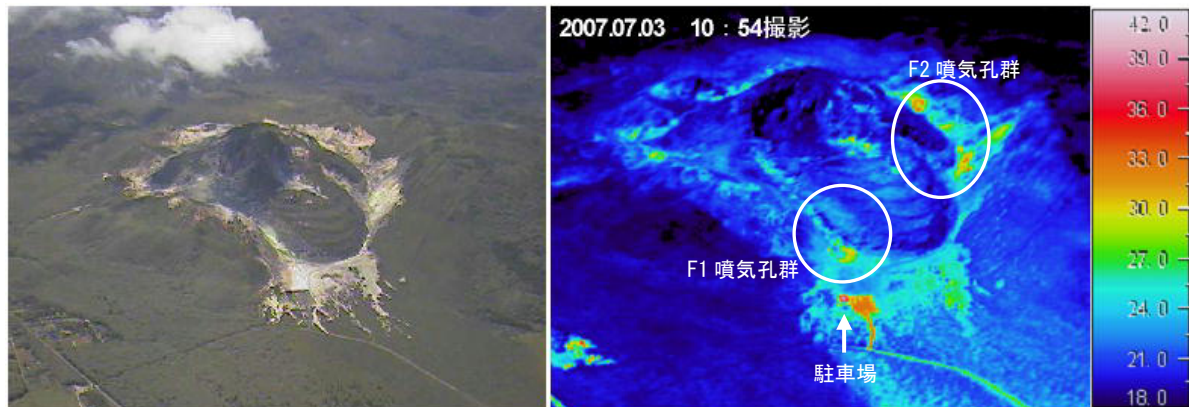


図 6 アトサヌプリ 赤外熱映像装置¹⁾による表面温度分布
(2007 年 7 月 3 日 図 1 ③方向から撮影)

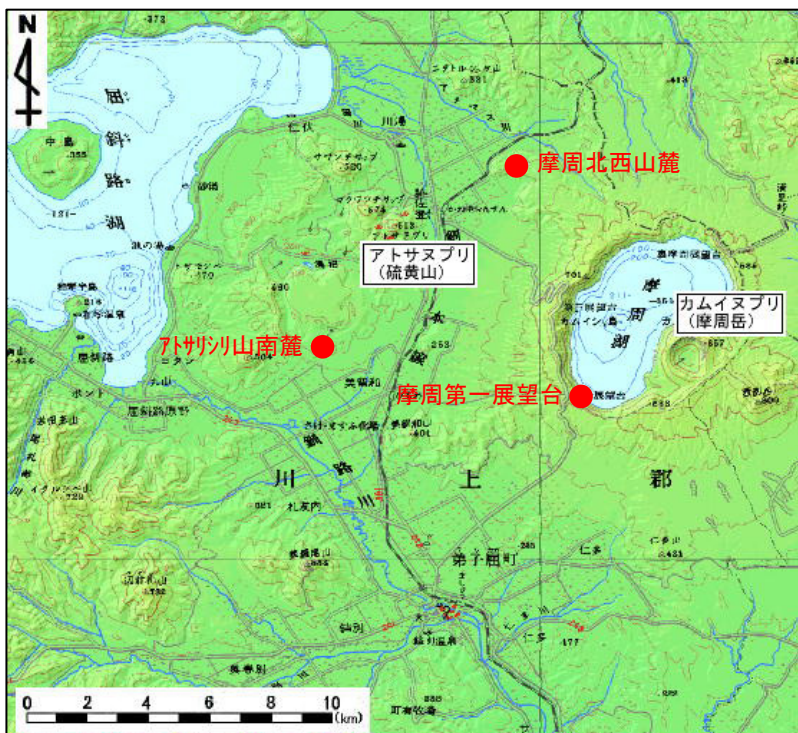


図 7 アトサヌプリ・摩周 地震計設置点

※参考

札幌管区气象台では、アトサヌプリ・摩周周辺で発生している火山性地震の活動を把握するため、3 地点に地震計を設置しました (7 月 13 日観測開始)。